

2017 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人長野県 NPO センター

【2017 年度事業の総括】

◆ NPO 活動支援事業

長野市及びその周辺部を拠点に活動する NPO に対して、① NPO 法人設立認証申請 ② 個別事業の資金調達 ③ 他団体との協働構築などのコンサルタント・サポート、事務代行業務を実施した。その中の 2 団体については、年間を通じて伴走型で事業をサポートすることにより、団体の事業充実、他団体との協働、組織基盤強化にもつながっている。今後も個別の NPO 等が直面している課題・ニーズの把握、広報（営業）活動を行うことで、収益性ある事業として発展させていきたいと考えている。

「SAVE JAPAN プロジェクト」については、昨年度と同じ団体との支援契約を締結した。木島平村で繁殖する絶滅危惧種「サシバ」に焦点をあて、団体の独自性やスキルを活かした事業を展開するとともに、地元の関係団体や行政との協働構築に大きく寄与した。

NPO 法人等の実務、広報、組織基盤強化に関する講座の企画・開催も積極的に行った。個々の NPO の信頼を得るには、事業の確実な遂行と並んで、人材育成・確保、広報の充実、資金調達・財務管理の適正実施といった組織基盤をバランスよく成長させていくことが重要である。日本 NPO センター等との協働により 2 つの講座を開催し、県内の NPO 等の組織力の強化に貢献した。

長野県初の地域課題を発信し、市民と NPO をつなぐ NPO 総合情報ポータルサイト「ナガクル」をオープンさせ、社会・地域の課題に対する市民目線での問題提起と一般の人にはいまだ見えにくいと言われる NPO・市民活動をまとめて情報提供できるインフラの整備を行った。

インキュベート・オフィスの運営については、2018 年 3 月末現在 6 団体が入居し、互いに関係性を深めているとともに、当法人として各団体のニーズに柔軟に対応することで業務安定化に寄与している。

◆ 企業・団体との協働事業

市町村、県域、圏域、全国域の中間支援団体等からの要請を受けて、交流イベントでの事例紹介・講座や NPO の運営、資金調達に関する講座講師を務めるとともに、県域、圏域、全国域の研修・大会の企画運営に積極的に参画し、市民活動の活性化と多様なステークホルダーとの協働を推し進めた。

長野県主催の「NPO 法人設立講座」講師を毎月努めるほか、千曲市の行政・民間の協働プロジェクトの助言者を担当し、行政との協働も推し進めた。また広域受援計画の策定や県域の災害時連携ネットワーク構築の検討など新たな社会の仕組みづくりにも積極的に関与した。

社会・地域問題を解決する主体として、「ソーシャル・ビジネス (SB)」「コミュニティ・ビジネス (CB)」が昨今注目されている。「ソーシャルビジネスサポートながの」と協働して、セミナーの開催や様々な団体によるサポートを実施し、SB、CB の創業を確実に後押しした。

◆ 委託事業、助成・補助事業

1 長野市市民協働サポートセンター事業

さまざまな人や組織による公益的な活動の交流や連携の機会を提供し、長野市内における協働の取組がさらに活発化することを目的に、次の重点目標を掲げて事業展開と運営を行った。

- (1) 市民公益活動団体の自立を支え、信頼と安定感のある社会貢献活動が営まれる「ながの」にする。
- (2) 「人と人」「人と組織」「組織と組織」とのつながりと対話を生みだし、それぞれが役割と出番がある地域社会を「ながの」で実現する。
- (3) 市民、NPO、地縁団体、企業、社会的起業家、行政など様々な主体が参加する「協働」の場を提供し、元気なまち「ながの」を創造する。

市民の交流機会が増え、利用者同士がつながり、お互いが刺激しあい、協力することにより、個々の市民活動のみならず、協働の取り組みが確実に成長している。また中小企業の経営者、同業者組合、商店街などとの協働が生まれ、新しい動きが確実に広がっている。「協働が育ち活かされるながのの未来創造拠点」として、「長野のまち・むらを元気にする」という市民協働サポートセンターのミッションの実現へ着実に近づく成果をあげた。

2 信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援事業）

生活困窮者自立支援法による長野県の当該委託事業に引き続き採択され、東北信地区の郡部町村と市部を対象に事業を実施した。県内の中間支援組織のネットワークをいかしつつ、専門的知識や人脈を有するスタッフが、一般就労が困難な者に対する生活自立・社会自立・就労自立の支援事業の企画立案を行うことで、対象者のそれぞれの「自立」にむけたサポートを行い、就労につながる成果をあげた。

3 子どもの居場所づくり事業

7人に1人が相対的貧困状態にあり、そのことに起因するさまざまな「こどもの貧困問題」が全国的にも注目されている。長野県でも対策のひとつとして、貧困家庭等の子どもに対し大人とのあたたかなつながりのもとで、学習支援、食事提供、悩み相談などを行い、家庭機能を補完する「子どもの居場所づくり」が推進されている。2016年度のモデル事業実施の成果を踏まえて、県が地域振興局単位で「信州こどもカフェ」の普及拡大に乗り出し、そのための多様な主体で構成するプラットフォームの構築・運営を上田、長野、北信地域で展開した。

こどもの居場所を2箇所直接運営し、本事業の現場の課題解決を実証的に行うとともに、セミナーを企画して、居場所の開設運営に携わるコーディネーターや学習ボランティア等の人材育成に寄与した。

4 若者の社会・地域活動への参画促進事業（長野市若者未来創造サポート事業）

若者が地域の困りごとを解決する行動を企画・実践する「youth reach」を2016年度より拡大して実施し、若い世代の「市民性」を持った人材を発掘するとともに、長野地域の高校生、大学生が学校の枠を超えて参加するコミュニティの形成につながっている。

<評価と今後の展望>

当法人の事業運営上の最大の課題は、自主事業で一定の収益が得られ、自立した組織運営を可能にすることである。「ミッション」の趣旨に添って、社会や地域の課題解決に市民のボランティアな「参加」を促しながら、一方で安定的な収益事業を営むためには、市民活動団体等の多様なニーズにきめ細かく対応する提供サービスや新たな協働プログラムの開発に重点的に取り組む必要がある。

一方で、行政等からの委託事業実施や他の中間支援組織などとの協働もミッションを達成するためには欠くことのできない事業である。長野市市民協働サポートセンターも、長野市内NPOなどとの交流・協働がより一層広がり、その評価も高まってきている。相談者や参加者の増加等を含め、更なる認知度アップや協働提案等を念頭に活動しながら、他のモデルとなる「ベストプラクティス」を多く生み出していきたい。また「就労準備支援事業」、「こどもの居場所づくり事業」を通じて、NPOがもつ広いネットワークを活かした社会のセーフティーネットづくりを「市民」とともに進めていく。

2018年度はNPO法施行、そして当会の創設20周年の節目の年である。役員、スタッフ一同が次の5年、10年の社会の変化を先取りし、2歩先を行く中長期ビジョンを掲げ、社会変革に果敢に挑戦するときである。

【各事業の報告】

1 NPO活動支援事業

(1) コンサルティング・バックオフィス等の支援実施

① 特定非営利活動法人T

障がいのある人が地域で日常生活や社会生活を送れるよう支援する施設を、指定管理者として運運営をするためサポートを行う。法人設立の支援。

② 特定非営利活動法人F

長野県における食品ロスの削減と貧困者層への支援に関する事業のサポートを行う。会計事務、労務管理事務の代行支援

③ 特定非営利活動法人NP

長野県におけるインバウンド推進に関する事業のサポートを行う。会計事務の代行支援。

④ 特定非営利活動法人NK

日本の各地域に伝わる伝統的な技術の継承を促すとともに、新たな文化・技術の振興と農商工連携を図る活動をサポート。定款変更に伴う事務手続きを支援。

⑤任意団体I

犬猫の殺処分をなくすための団体をNPO法人化するための相談に応じた。

(2) SAVE JAPANプロジェクト

損保ジャパン日本興亜が「Web約款」活用による経費節減分を協賛金として資金提供するプログラムで、日本NPOセンター、長野県NPOセンター、環境保全実施団体等が協働によって、希少生物種をはじめとする「いきものが住みやすい環境づくり」を進めるプロジェクトを実施した。

- ・ 『ecology&eco-lives 信州』の活動に対して支援（2年目）
- ・ 木島平村内山集落で高密度に繁殖する絶滅危惧種の「サシバ」の生息・繁殖調査と今後の

環境保全活動の企画

- ・ 一般参加者向けに、サシバや餌場としている里山の環境や育雛の様子を直接観察して生き物の生態について学ぶとともに、木島平村の食を通じた交流会で村の魅力を伝えた。

4月23日 サシバCAMP2017春 6月18日 サシバCAMP2017夏

- ・ 地元のむらづくりに関わるNPO法人・住民団体や行政などとの協働関係をつくり事業実施した。

(3) NPO 法人等の実務、広報、組織基盤強化に関する講座の企画開催

① NPO/NGO のための組織基盤強化ワークショップの開催

(日本NPOセンター、(株)パナソニックとの協働)

組織基盤強化の実践に向けた第一歩として、NPO/NGO のリーダーやスタッフが組織を見直すことができるよう、理論、事例紹介、組織課題を深掘りしていくワークを組み込んだプログラムを実施。参加者が活発な意見を交わす中から自組織の課題を掘り下げることができたとの声が多く寄せられた。

日時：6月10日(土) 13:30~17:00

会場：長野市生涯学習センター 3F 第1学習室

参加者数：43人(参加者：28人 事例発表者：2人 日本NPOセンター：4人

Panasonic：1人 市民創造ファンド：1人 当会：7人)

事例発表者：

- ・ 認定特定非営利活動法人長野サマライズ・センター 事務局長 小笠原 恵美子さん
- ・ 特定非営利活動法人食育体験教室・コラボ 理事長 飯島 美香さん

② 「伝えるコツ」セミナーの開催(電通・NPO 広報力向上委員会共催)

広報の第一線で活躍されている講師からの説得力ある講義により、各自スローガンを作成、セミナーの中でブラッシュアップができた。これまでのつながりのあった団体だけでなく、新しいつながりの糸口が作れた。ICT を活用した情報発信”地域課題×NPO”のポータルサイト「ナガクル」の認知拡大のはずみになった。

日時：12月9日(土) 13:00~17:00

会場：長野市ふれあい福祉センター4F2・3会議室

講師：藤本 宗将さん(株式会社電通 コピーライター)

鈴木 契さん(株式会社電通関西支社 プランナー)

参加者数：43人

(4) NPO・公共的団体等の情報交流・協働推進に関する企画・実施

(長野県元気づくり支援金)

長野県が抱える地域課題などを特集記事としてアップロードし情報共有するとともに、課題解決に向けて取組む NPO・公共的団体を紹介しつなぐ長野県独自の NPO 総合情報発信ポータルサイト「ナガクル」の開設と事前の周知拡大を図るセミナー等を行った。

① IT 活用情報発信講座の開催

長野エリア NPO 向けウェブブランディング講習と参加団体の交流・活動発表会を開催した。

日時： 9月28日 13:30～16:30 10団体参加 会場：長野市もんぜんぷら座
10月20日 13:30～16:30 11団体参加 会場：長野市もんぜんぷら座
(交流会) 18:00～20:00 20人参加 会場：夢ママキッチン

講師：吉野真佐代さん(特非)CANPANセンター

② ナガクル登録会・情報開示度アップ講習

ナガクルを説明し、情報開示度を上げ、ナガクルに登録するための講習を行った。

日時： 1月10日 13:30～16:30 参加15団体 会場：長野市もんぜんぷら座

講師：吉野真佐代さん(特非)CANPANセンター

③ ナガクルオープン記念会議「SDGsを知って今始めよう!100年先のナガノのために」の開催

ナガクルを周知するために、長野エリアのNPO法人や社会貢献活動企業などを対象に開催。国連により採択された子供の貧困をはじめ、17の開発目標についての勉強会および地域のNPOによる活動のゴールのプレゼンと自分たちの活動が世界につながっていることを考え発表しあうワークを行った。

日時： 2月10日 13:30～16:30 参加30人

会場：長野市もんぜんぷら座 304会議室

講師：星野智子さん(SDGs 市民社会ネットワーク理事)

吉野真佐代さん(特非)CANPANセンター

④ ナガクルフォローアップ講習会

ナガクル登録のための要件をクリアのための講習を実施。

日時： 3月10日 17:00～19:00 参加4団体

会場：長野市もんぜんぷら座 304会議室

講師：スタッフ3名と、ボランティア1名

(5) 会計事務支援

株式会社ソリマチの「会計王」の販売代理及びサポート団体として契約を行い、NPO法人に対して、効率的で適正・信用の高い会計業務の実現にむけてのサポートを行った。

(6) インキュベート・オフィス運営

2018年3月末現在、6団体が入居している。入居団体からのニーズに即時対応するとともに、情報共有・交流することで協働の可能性が広がっている。またスケールメリットが活かされて、水道光熱費等、事務所維持にかかる費用の軽減につながっている。

<入居団体>

- ① 特定非営利活動法人ライフデザインセンター
- ② 特定非営利活動法人アリスチャイルドメイト
- ③ 特定非営利活動法人NPO夢バンク
- ④ 特定非営利活動法人信州野生生物保全センター
- ⑤ NPOナルクながの
- ⑥ 特定非営利活動法人フードバンク信州

(7) 訪問・電話・メールの相談対応

NPO法人からの単発的な運営に関する相談・問い合わせに応じて、多様な支援を実施した。

2 企業・団体との協働事業

(1) 中間支援組織との協働

① 日本ボランティアコーディネーター協会及び県内実行委員会との協働

「全国ボランティアコーディネーター研究集会2018信州」の企画・実施

コーディネート実践の中で直面している、あるいは今後取り組まねばならない課題を取り上げて検討すること、コーディネーター自身の仕事のレベルアップを図り、専門職であるという自負と実力をつけることを目的に開催。地元事務局として研究集会の運営にあたる

社会福祉協議会、長野市、福祉団体、大学等の関係機関が協働した実行委員会（15回開催）と当日運営により、参加者からは高い評価を得た。またこれを機会に、県内の広い分野の団体・機関との関係性が深まり、今後の協働促進に大きな成果をもたらした。

日時：3月3日（土）～3月4日（日）

会場：JA 長野県ビル・アクティーホール、もんぜんぷら座、長野市生涯学習センター

参加者数：253人 実行委員数：43人 運営協力者：10人 ボランティア数：52人

大会テーマ：ここがミソ、そばもコーディネートも「つなぎ」がかんじん

～ヒト・モノ・コトから読み解き、未来を創造する～

大会プログラム

・ オープニング・全体会

「原点を問う。未来を拓く。コーディネーターあるある物語」

大会の目的や論点を「劇」（ボランティアが自作自演）という形で提案。

・ 分科会

「社協」「居場所」「困窮」「社会教育」「学校」「環境」「若者」「人材育成」「災害」「コーディネーション力」「こども・貧困」「伝える」などの多様なテーマ（1日目12分科会、2日目9分科会）で講義、事例発表、ワークを織り交ぜた分科会を開催

・ クロージング・全体会

「信州発（初）ここがミソ！ 未来へつなぐコーディネーション～私たちは何を問い続けるのか？」

集会で得られことと明日から取り組むことを参加者全員で共有

・ 交流会、前日企画

② 長野県長寿社会開発センターとの協働

高齢者の社会参加、「生涯現役」で活躍できる社会環境の構築を推進する長寿社会開発センターの要請に基づき、シニア大学専門コース「ビジネスデザイン」の講師を担当した。

年間10回 講座・報告会（長野市）

受講生 17人

③ 中部環境パートナーシップオフィス

環境省が設置し、中部・北陸地域を管轄する中部環境パートナーシップオフィスの事業に参画した。

- ・ 運営委員として運営委員会に参加し、同所の事業運営への意見や評価を行った。
年2回（愛知県）
- ・ 同所の事業と連携して、各都道府県で環境団体や行政との関係づくり等に携わる協働コーディネーターの研究集会等への参加
年3回（愛知県、石川県）

（2）行政との協働

① 長野県県民協働課

「NPO設立講座」において、派遣依頼に基づきNPOの初歩的知識に関する講座講師を担当した。

偶数月第2木曜日（5月～2月）5回（長野市）

佐久、上田、北アルプス、北信振興局管内 各1回（9月～10月）

② 千曲市、NPO法人まちづくりちくま社中、エリアネット更埴

- ・ 協働のまちづくり・市民と行政との対話戦略を進めるワークショップ形式のプロジェクト2年目のスタート講座に助言者、ファシリテーターとして参画した。

6月29日（千曲市）

- ・ 市関係課と市内NPO・ボランティア団体との協働のまちづくりに関するワークショップのファシリテーターを担当した。

9月8日（千曲市）

③ 長野県危機管理部

- ・ 災害対策本部NPOボランティア班要員参画

県災害対策本部要員として、糸魚川静岡断層に起因する大規模災害を想定した図上訓練に参画した。

9月1日（長野市）

- ・ 広域受援計画専門部会参画

「広域受援計画基本構想」の策定に、長野県社協、JVOADとともに人的支援専門部会委員として携わった。

（3）地域金融機関等との協働

「ソーシャル・ビジネス（SB）」「コミュニティ・ビジネス（CB）」の創業の促進を図るため、日本政策金融公庫等と協働して、セミナーの開催や様々な団体によるサポートとネットワークづくりを中心となって行った。

- ・ ソーシャルビジネスサポートながの定例会 全7回

- ・ 「ソーシャルビジネスセミナー～古民家ビジネスで活躍する起業家を招いて～」

事例発表（県下3名）と「事業継続をして行くためのポイント」に関するワークショップ

3月19日（長野市）

（4）社会福祉協議会等との協働

① 長野県社会福祉協議会、長野県生活協同組合連合会等

災害時の連携を考える長野県フォーラムの企画・開催への参画

長野県社会福祉協議会、長野県生活協同組合連合会、全国社会福祉協議会、JVOAD 等とともに、県内災害対応の目標共有、支援団体相互の関係づくり、平時の情報共有や研修・訓練の場となるネットワーク構築等を目的としたフォーラムを開催した。

- ・ フォーラム企画会議と振り返り会議 全9回

- ・ 「第1回災害時の連携を考える長野県フォーラム」

全国社会福祉協議会、JVOAD からの全国動向の報告、支援団体相互の関係づくりワークショップ

1月29日 (長野市) 参加者数184人

② 長野県社会福祉協議会

- ・ ボランティアコーディネーター研修

県下のボランティアコーディネーター等を対象にNPOに関する基礎知識や資金調達に関する講義を行った。

10月25日 (長野市)

- ・ 第41回信州発ボランティア・地域活動フォーラム企画・開催への参画

全体会、分科会(6分科会)を企画する実行委員として参画し、当日の運営にあたった。

10月28日 (千曲市)

③ 軽井沢町社会福祉協議会

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018を企画への参画

軽井沢町社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会等とともに、全国のボランティア団体や関係機関の交流、課題に対する研究を行う目的で、2018年11月当日に向けた準備、検討を行った。

実行委員会、幹事会 5回 (軽井沢町)

④ 諏訪市社会福祉協議会

ボランティア活動の組織基盤強化等に関する講座及びワークショップの講師を担当

11月26日 (諏訪市)

⑤ 長野市社会福祉協議会

ボランティアコーディネーターの資質向上、ボランティア活動の組織基盤強化等に関する講座及びワークショップの講師を担当

12月3日 (長野市)

⑥ 小布施町社会福祉協議会

ボランティア活動の組織基盤強化等に関する講座及びワークショップの講師を担当

3月13日 (小布施町)

(5) 教育機関との協働

県立長野高校1学年のスーパーグローバルハイスクールのカリキュラムの一環として行なわれた生徒のインタビュー及び課題研究発表会に参加して、「こどもの居場所づくり」に関する事例紹介と調査・活動内容へのアドバイスを行った。

(6) その他

① 明治ホールディングスのお菓子寄贈プログラム

- ・ 日本NPOセンターより推薦団体募集の要請あり、次の3団体を推薦。

12月上旬に、段ボール箱（1団体：市価5万円相当）のお菓子が提供された。

特定非営利活動法人COCO：上伊那地域の障害者の自律支援

特定非営利活動法人STARS：障害児支援（医療ケアを中心に）

千曲・坂城地域自立支援協議会：障害児の地域生活支援

3 長野市市民協働サポートセンター受託事業

長野市が掲げる「協働推進のための基本方針」で示されるセンターの役割・機能の拡大を踏まえ、当センターでは『「協働」が育ち活かされる ながのの未来創造拠点』というミッションを掲げ、NPOのネットワーク組織「ながの協働ねっと」と二人三脚で、NPO・市民・企業・行政・起業家など多様な方々が集う場を創出。市民が自主的につながり、未来志向で議論し、共に地域・社会の課題解決に向けたアクションを起こすきっかけを提供している。その結果、新しいコミュニティが生まれ、NPOの成長にもつながってきている。

今年度は新たに、短期ミッション「地域の底力を信じ、市民一人一人を“ローカルヒーロー”に」を掲げ、「NPOカフェまんまる」の新たな取り組みとして、「地域まんまる」を実施。住民自治協議会など地縁団体と協働で企画づくりを行った。NPOと地縁団体とがつながり、互いを知るきっかけを提供することで、地域の中でNPOの活躍の場を探ってきた。またそのことが、地縁組織へのサポートにもつながってきている。

その他にも、中間支援組織のネットワーク「コミュニティブリッジ」の立ち上げや、地域のホットな話題を取り上げ、知恵を出し合う「ポップアップ知恵出し会議」の本格事業化を行った。センター事業の充実を図ったことや、ながの協働ねっとの各プロジェクト事業を活発化させたことで、センター利用者数は一万人を上回り、利用者層の拡大にもつながってきている。

今後の課題としては、若年層とのつながりづくりが挙げられ、平成30年度は長野県NPOセンターとの共催事業「youth reach（ユースリーチ）」や、ながの協働ねっと事業「地域まるごとキャンパス」を足掛かりに、活動者と若者との接点づくりを行っていく。

*センター利用者数 10,427人 前年比 111.0% 前々年比 187.4%

(1) 情報の収集・提供業務

- ① 市民活動情報に関する情報の収集及び提供（機関誌発行4回、他機関機関紙の収集管理、市民公益団体のデータベース化、助成金情報の提供）
- ② 情報掲示板、関係図書管理（各団体のチラシ、ポスター等の提示物の受付等）
- ③ ホームページ、ブログ、フェイスブックの維持管理、有効活用
- ④ 市民公益活動団体、ボランティア等に関する情報提供、相談対応、案内

*窓口相談件数 60件／電話及びメール相談件数 50件／訪問相談件数 4件

【合計 114件（前年 83件 前年比 134.9%）】

*窓口情報提供件数 1,313 件／電話及びメール情報提供件数 2,640 件／訪問情報提供件数 2 件

【合計 3,955 件（前年 3,019 件 前年比 131.0%）

- ⑤ 報道機関へのイベント情報提供
長野市民新聞「市民とNPOのひろば」への取材記事、イベント情報提供
 - ⑥ 市内各種団体の訪問調査（訪問件数 121 件）
 - ⑦ 市民団体主催イベントの取材及び情報提供など
（市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会への参加（毎月）及びイベント取材記事・イベント情報の提供、FMぜんこうじ「長野市広報ふれあいガイド」へのNPO 団体出演のコーディネートなど）
 - ⑧ フリースポット管理、問い合わせ対応
- (2) 市民公益活動団体、地縁組織、企業等を対象とした支援業務
（市民公益活動団体等への支援）
- ① ながのまちづくり活動支援事業に係る支援業務
 - ② 市民公益活動団体等との交流や情報交換の機会提供及びコーディネート業務
ア 交流会の企画・実践
 - ・ NPO カフェまんまる（地域まんまる含む） 13 回 433 人
 - ・ 食・農・山村体験とまちむら交流会 4 回（中止含む） 71 人
 - ・ ポップアップ知恵出し会議 4 回（中止含む） 53 人
 - ・ コミュニティブリッジ 5 回 23 人
 - ・ youth reach 7 回 72 人イ 相談・調整 114 件（再掲）
 - ③ 講座の開催
ア NPO（法人）の初歩的知識に関する講座 12 回（中止含む） 35 人
イ NPO（法人）等の会計処理、資金調達に関する講座 3 回 32 人
ウ 情報発信（マスコミ向け、ホームページ等）に関する講座 10 回 173 人
（地縁組織への支援）
 - ④ 住民自治協議会、町内会、区などの地縁組織を対象とした相談業務・講座実施
ア 機関紙「まんまる」の配布など
（企業への支援）
 - ⑤ 企業の社会貢献活動（CSR）に関する相談・案内業務
ア 機関紙「まんまる」の配布など
- (3) 市民公益活動の促進を図るためのその他の事業など
- ① 市民公益活動の促進を図るための事業の企画・提案
ア 「ながの協働ねっと」主催事業
 - ・ 理事会 9 回 56 人
 - ・ 交流会 2 回 21 人
 - ・ エイリアンミーツ 2 回 5 人
 - ・ 信州発！一杯の味噌汁プロジェクト 14 回 1,132 人

- ・ ながの忍者をふやそう大作戦 16回 523人
- ・ 権堂〇〇（まるまる）フェスタ 92回 3,184人
- ・ 地域まるごとキャンパス 3回 27人
- ・ 長野市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会 12回 52人

イ 他団体への会議スペース提供

貸出件数 54件（利用人数 315人）

② 市民公益活動団体の活動資金調達のための物品販売支援

ア 展示スペースの提供 利用団体15団体

③ 市民協働サポートセンターの周知・広報

（長野市有線放送、ながのTV、FMぜんこうじ、フェイスブックなどの媒体活用）

④ その他

ア スタッフ研修 8回（職場内1回、職場外7回）

イ スタッフ全体ミーティング 毎月1回

（4）施設管理業務

- ① 利用者・利用団体の登録・更新、データベース化、ホームページでの団体リンク集作成・管理業務
- ② 利用統計資料の作成
- ③ 情報交換スペースの管理
- ④ 備品類の管理

4 信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援事業）

県内の中間支援組織のネットワークを活かすとともに、東信（東御市）、北信（長野市）に拠点を設置による支援メニューの充実を図り、一般就労が困難な者に対する生活自立・社会自立・就労自立の支援事業の企画立案と実施を行った。

① 対象者

生活困窮者のうち、以下の者及び被保護者

ア 65歳未満の者

イ 世帯収入月額が市町村民税非課税限度額の1/12の額及び生活保護の住宅扶助基準に基づく額の合算額以下

ウ 金融資産の合計額が基準額に6を乗じて得た額以下

エ アからウに準ずる者として本事業による支援が必要な者

② 実施地域

東北信地域の郡部町村及び市（佐久市、小諸市、東御市、長野市、須坂市、千曲市、飯山市）

③ 被支援者

33人（生活困窮者23人、被保護者10人）

④ 地域コーディネーター機関

佐久平NPOセンター、いいやまNPOセンター

⑤ 地域拠点

長野拠点：長野県NPOセンター セミナー室 フードバンク信州栗田事務所

東御拠点：東御障がい者相談センター「さくら」（ちいさがた福祉会運営）

5 子どもの居場所づくり事業

学習支援、食事提供、悩み相談等の多機能で家庭機能を補完する地域のこどもの居場所である「信州子どもカフェ」を多様な主体とともに推進し、子ども自身に困難を乗り越えて自立する力をつけてもらうと同時に、地域コミュニティが貧困の連鎖を防止するための取り組みを拡大させていくことができるよう事業を行った。

(1) 子どもの居場所・こどもカフェの普及拡大に対する支援

(信州こどもカフェ推進プラットフォーム構築・運営事業)

県の上田、長野、北信地域振興局単位で「信州こどもカフェ」の普及拡大を図るため、情報共有の場、課題解決の場として、こどもの居場所・こどもカフェの実施団体、支援団体、行政がネットワークする「プラットフォーム」の構築と運営（人材育成事業を含む）を行った。

① 上田地域プラットフォーム

ア ワークショップの開催

開催日	会場	参加者数	主な内容
7月18日	長野県NPOセンター	4名	プラットフォーム構築の進め方打ち合わせ
9月11日	上田合同庁舎	33名	子どもの居場所づくりの活動の情報交換会（アンケート調査）

イ 地域プラットフォームの構築

- ・信州こどもカフェ上田地域プラットフォーム参加意向調査の実施
- ・信州こどもカフェ上田地域プラットフォームメーリングリスト作成

ウ 地域プラットフォームの運営

- ・全体会議

開催日	会場	参加者数	主な内容
12月25日	上田合同庁舎南棟	27名	上田地域プラットフォームキックオフ会議
2月8日	上田合同庁舎	7名	世話人会、情報市場の開催打ち合わせ
2月27日	上田合同庁舎南棟	25名	プラットフォーム第2回情報市場

- ・セミナー・研修会

開催日	会場	参加者数	主な内容
1月14日	長野市東部文化ホール	100名	こどもカフェ開設運営コーディネーター養成セミナー第1回（映画上映フォーラム）
2月6日	長野市柳原公民館	26名	養成セミナー第2回（こどもカフェのプランづくり）
3月13日	長野市柳原公民館	13名	養成セミナー第3回（個別プランの発表）
8月6日	上田中央公民館	7名	こどもカフェ学習支援ボランティア養成講座
10月22日	上田中央公民館	5名	こどもカフェ学習支援ボランティア養成講座
1月27日	上田中央公民館	8名	こどもカフェ学習支援ボランティアサポート講座

② 長野地域プラットフォーム

ア ワークショップの開催

開催日	会場	参加者数	主な内容
7月28日	長野県長野合同庁舎501会議室	25人	行政機関等との子どもの現状についての情報交換・意見交換
10月4日	長野県長野合同庁舎別館2階会議室	20人	子どもカフェ実施団体等の見せ(店)出し方式による、情報交換・意見交換

イ 地域プラットフォームの構築

- ・信州子どもカフェ長野地域プラットフォーム参加意向調査の実施
- ・信州子どもカフェ長野地域プラットフォームメーリングリスト作成

ウ 地域プラットフォームの運営

- ・全体会議

開催日	会場	参加者数	主な内容
11月29日	長野県長野合同庁舎別館2階会議室	46人	地域プラットフォーム参加意向調査等の結果とプラットフォームの立ち上げ、こどもの居場所づくり活動についての課題だしグループワーク
1月24日	長野県長野合同庁舎501会議室	33人	他地域のプラットフォームの活動を知る、共通課題の整理と分科会等のテーマ検討、地域発元気づくり支援金の説明
3月14日	長野県長野合同庁舎501会議室	23人	分科会での課題検討の共有、参加団体からの全体に共有したい情報の交換

- ・分科会

開催日	会場	参加者数	主な内容
3月14日	長野県長野合同庁舎501会議室	23人	こどもカフェ運営等に係る課題別の検討 第1分科会 支援が必要な子へのアプローチ、広報 第2分科会 食材、教材、消耗品など寄贈物品の提供配分調整 第3分科会 人材の発掘・育成 第4分科会 運営資金の確保

- ・セミナー・研修会

開催日	会場	参加者数	主な内容
1月14日	上田地区と同じ		
2月6日	上田地区と同じ		
3月13日	上田地区と同じ		

③ 北信地域プラットフォーム

ア ワークショップの開催

開催日	会場	参加者数	主な内容
7月21日	北信合同庁舎	23名	子どもの現状についての情報交換会
9月26日	北信合同庁舎	24名	子どもの居場所づくりの活動の情報交換会(アンケート調査)

イ 地域プラットフォームの構築

- ・信州子どもカフェ北信地域プラットフォーム参加意向調査の実施
- ・信州子どもカフェ北信地域プラットフォームメーリングリスト作成

ウ 地域プラットフォームの運営

・ 全体会議

開催日	会場	参加者数	主な内容
12月12日	北信合同庁舎	26名	北信地域プラットフォームキックオフ会議
2月21日	北信合同庁舎	17名	プラットフォーム第2回情報市場

・ セミナー・研修会

開催日	会場	参加者数	主な内容
1月14日	上田地区と同じ		
2月6日	上田地区と同じ		
3月13日	上田地区と同じ		
7月7日	中野市福祉ふれあいセンター	20名	中野市社協こどもカフェづくり推進セミナー開催協力支援
3月9日	中野市福祉ふれあいセンター	15名	中野市社協こどもカフェづくり推進セミナー開催協力支援

(2) 子どもの居場所・カフェの関わる人材育成

① 「子どもの居場所・子どもカフェ」開設・運営コーディネーター養成講座

(長野みらい基金ろうきん安心社会づくり助成)

食事、学習、相談できる「こどもの居場所・こどもカフェ」を地域の資源を生かして、身近に開設・運営するコーディネーターの養成セミナーを開催した。

・ 第1回 <子どもの居場所・こどもカフェを知る>

日 時：平成29年4月19日（水）

会 場：長野市ふれあい福祉センター

参加人数：56名（運営スタッフ・講師を除く）

内 容：講 演「学習支援で居場所づくり」 講 師 NPO 法人 TEDIC 代表理事 門馬 優氏
リレートーク…子ども支援に取り組む長野県内事例のリレートーク

・ 第2回 <子どもの居場所の現場でインターン体験>

日 時：平成29年5月8日（月）～5月31日（水）

会 場：「アイウィル学習室」、「きずな塾」、「なみカフェ」、「子どもと誰でも食堂」

参加人数：34名

内 容：無料塾や子ども食堂などの子どもの居場所でのインターン体験

・ 第3回 <子どもの居場所・こどもカフェのプランづくり>

日 時：平成29年6月14日（水）

会 場：にじいろキッズらいふ 参加人数：28名

内 容：講義とワークショップ テーマ「子どもの居場所をつくるには」

講 師：NPO 法人れんげ舎 代表理事 長田 英史氏

・ 第4回 <具体的な個別プランづくりと発表会>

日 時：平成29年7月12日（水）

会 場：にじいろキッズらいふ 参加人数：18名

内 容：個別の居場所のプラン発表

② 信州全域の学習支援ボランティア養成・ネットワークづくり支援事業

(ベネッセこども基金・長野市ボランティア連絡協議会)

学習支援活動に取り組むボランティアを掘り起こし養成するため、また既に活動中の学習支援ボランティアへのサポートを行い、学習支援活動の質を向上させるとともに、ボランティア間のネットワークづくりを行うための講座を開催した。

・ 学習支援ボランティア養成講座第1回

日 時：平成29年8月5日(土)／長野会場、8月6日(日)／上田会場

会 場：長野県社会福祉総合センター(長野市若里7丁目1-7)

上田中央公民館(上田市材木町1丁目2-3)

参加人数：22名

内容：基調講演「一から学ぶ、子どもの貧困と学習支援活動」 TEDIC 門馬 優氏

事例紹介 飯田市かふえじゅく須山 造氏

学習支援意見交換会

・ 学習支援ボランティア養成講座第2回 <現場でインターン体験>

実際に学習支援・食事支援・悩み相談の体験をすることで、学習支援活動の感覚を知るため、県内のこどもの居場所「信州こどもカフェ」の現場での1日インターン体験を行った。

・ 学習支援ボランティア養成講座第3回 <インターン振り返り>

日 時：平成29年10月21日(土)、22日(日)

会 場：にじいろキッズらいふ(長野市若里6丁目6-14)

上田中央公民館 第3会議室(上田市材木町1丁目2-3)

参加人数：12名

内 容：インターン体験の振り返り、学習支援意見交換会

・ 学習支援ボランティアサポート講座 第1回(プラットフォーム研修事業と併催)

日 時：平成30年1月14日(日)

会 場：長野市東部文化ホール

参加人数：19名

内 容：映画「さとにきたらええやん」上映、県内活動者によるリレートーク、意見交換会

・ 学習支援ボランティアサポート講座 第2回

日 時：平成30年1月20日(土)／長野会場、1月27日(土)／上田会場

会 場：長野市柳原公民館／長野会場、上田中央公民館／上田会場

参加人数：20人

内 容：講義「学習支援ボランティア 子どもとの関わり方を考える」

講師 山本 京子 氏／長野会場、 棚田 美由紀 氏／上田会場

(3) こどもカフェの直接運営とモデルの実証

こどもたちが安心して過ごし、学習支援や食事支援を通じて、将来に明るい展望を持つことができる多機能な居場所の運営を行った。

地 区	ながのこどもわくわくカフェ(※1)	あんずカフェ
実施期間	平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月 ・ 毎月第 1・3 火曜日開催 16:00～20:00	平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月 ・ 月 3～4 回開催（平日夕方 2 時間 又は休日夕方 2 時間） ・ 水曜日または土曜日（月 2～3 回） 17:30～20:00
会 場	長野市権堂イーストプラザ	千曲市戸倉創造館
子どもの参加 人数	18 回、延べ 112 名	24 回、延べ 85 名（半数以上がひとり 親家庭の子ども）
支援者数(※ 2)	87 名	180 名

※1 NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトとの協働により運営、学習支援を担当

※2 支援者：会場運営者、学習支援・食事提供ボランティア等

6 若者の社会・地域活動への参画促進事業（長野市若者未来創造サポート事業）

若者が地域の困りごとを解決する行動を企画・実践する「youth reach」を実施

① 参加者：高校生・大学生 計 32 名

② 全体会

- ・ キックオフセミナー

開催日：2017 年 6 月 17 日（土）

会場：長野市役所 市民交流スペース

参加者数：16 名

- ・ 中間リフレクション

開催日：10 月 29 日（日）

場所：新小路ホール（長野市東町 142-2SHINKOJI 北棟 1F）

参加者数：8 名

- ・ 大リフレクション

開催日：2018 年 2 月 15 日（木）

場所：長野県高齢者生活協同組合事務所「たわわ善光寺下」（長野市 三輪 6 丁目 17-10）

③ 各班の活動報告

- ・ 居場所班

進路や学校生活の悩みなどを感じている子どもを含め、地域の子どもたちが希望を持って将来を展望できる地域をつくるため、身近な立場で話ができる地域の大学生と交流することのできる場

づくりを行った。

活動内容：西部中学校での放課後チューター

- ・ 保護猫班

地域で保護された猫と新しい飼い主のマッチングを行う「保護猫ハウス」への来場者数増員のための広報活動を行った。

活動内容：保護猫ハウスの改装、フリーペーパー作成など

- ・ 祭り班

福祉的な目的を持ったイベントや売上を市内 NPO 等へ提供するチャリティイベントで学生ならではの元気溢れる企画を立案し実行する。

活動内容：権堂〇〇フェスタでの企画運営